

## 一般会計決算など「活発な議論」

### 総括質疑



国勢調査による本町の人口動向が気になります（国勢調査票の審査の様子）

**国勢調査の人口減による財政状況は**

**問** 国勢調査により人口が二万人を割った場合の財政状況はどうなる。  
**企画財政課** 町税、交付税は、右肩下がりとなり厳

しくなると考える。どこの市町村も同じ状況。  
**問** 「よみがえり予算」は事業を先に延ばす口実では。「使い残し予算」は職員の意欲の低下にならないか。  
**企画財政課** 「よみがえり予算」は、今後要求があるだろう。「使い残し予算」は節約した結果であり、プラスに作用した。

**町の活力を高める政策予算の増額を**

**問** 事務的経費に比べて町の活力源となる政策的予算が減っている。これが身の丈にあった行政執行か。  
**町長** 交付税、補助金が減っている中で予算を組まなければならぬ。町債を発行すれば投資的予算を増

やせるが、後々の負担となるためバランスを考えなければならぬ。

**町発注の工事に地元企業の活用**

**問** 大きな工事は大手企業が取り、地元企業は下請けをしている。地元企業を優先することができないか。  
**地域整備課** 建築関係は、ほとんどが地元企業である。事業によっては条件的に難しい点があるが、地元企業が多く参加できるように考えている。  
**問** 課を統廃合したが、主幹を置いたことで管理職は減っていないのでは。  
**助役** 事務事業に弾力的な体制となり人員削減につながった。主幹は必要性が

山田町次世代育成支援計画に基づいた事業を進める。



3日間に及んだ決算特別委員会活発な議論が交わされました

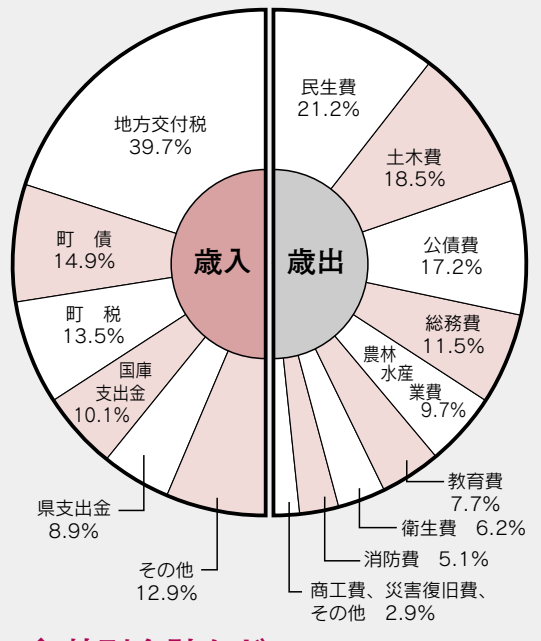
### ことば…よみがえり予算

事業内容の見直しや改善など、自主的な努力で節減した財源を一定の基準内で加算要求することができることとしたもの。

決算特別委員会は、九月十三日から十五日まで町中央コミュニティセンターで開かれました。特別委員長には、昆暉雄副議長を選出。三日間にわたり一般会計や介護保険特別会計など九会計の平成十六年度決算を審議しました。ここでは、その概要をお伝えします。

## 平成16年度決算額

◆一般会計 歳入 81億2,793万円  
歳出 79億7,807万円



### ◆特別会計など

♥決算額（上段=歳入、下段=歳出）

国民健康保険	24億2,164万円 23億8,532万円
老人保健	19億5,770万円 19億5,764万円
介護保険	11億9,839万円 11億7,555万円
簡易水道事業	7,758万円 7,576万円
漁業集落排水処理事業	2億4,879万円 2億4,724万円
公共下水道事業	3億3,513万円 3億3,378万円
土地取得事業	5万円 5万円
水道事業	2億9,124万円 2億6,037万円

**所得向上の支援策と1次産業の活性化策**

**問** 所得向上の支援策、第一次産業の活性化策は。  
**産業振興課** 町民と話し合い、投資的・恒久的なものを検討して行きたい。  
**問** 団塊の世代が退職

**第8次総合発展計画沼崎町長のカラーは**

**問** 第八次発展計画に町長のカラーをどう示すか。  
**町長** 厳しい財政状況から投資的では示せない。従来の考え方を換え、行政と住民がパートナーシップの基に、協働で町づくりを進めなければならない。行政が行うことが当たり前と考えられていたサービスも住民にお願いし、事業

あり設置したが、業務が進めば廃止もある。  
**問** 主要なプロジェクトの事業達成率は。  
**企画財政課** 第七次発展計画での達成率は、集落排水事業は八〇割、下水道事業は七八割、柳沢団地建替事業は五九割である。

したとき業務は大丈夫か。  
**総務課** 課長が指導して。また、研修の機会をできる限り与えている。

**町長** 住民、議会と議論を重ね単独の道を選んだ。行政改革を進め、合併しなくてよい町づくりを進める。職員を二十人減らしたが、更に十人減らす考えもある。

**問** 町の活性化の為に、子育て支援策を強化すべき。  
**保健福祉課** 出生数の低下の原因は、女性の社会進出、晩婚化、子供を産み育てる意欲の低下などが考えられる。子育て支援は、国の新エンゼルプランを受け、